



## 情報通信業 T社

## 運用管理システムのモダナイズをServiceNowとSharePointで短期実現

## ノーコードでの実装が開発生産性の向上やメンテナンス工数の大幅削減に貢献

自動車メーカーを中核に、車体部品や電装部品の製造、さらには金融領域に至る広範な事業を展開するグループ企業に対し、ITソリューションの企画、開発、運用を支援するT社。同社では、人手不足やコストダウンといった課題の解消に向け、グループ各社のシステム運用管理業務の効率化を目指したプロジェクトを順次推進している。その一環として、グループ内の金融関連企業における運用管理システムのモダナイズに着手。キャパシティ管理を統合監視ソフトウェア「Zabbix」に、既存システムを関連業務にかかわるワークフローの実行・管理を行う「ServiceNow」や「SharePoint」を用いてリプレース。「ASTERIA Warp」を採用し、多様なシステムとの容易な連携を実現する豊富なアダプター（ServiceNowアダプター含む）を駆使しながら、各種プロセスの自動化を進めている。これにより、運用管理にかかわる工数を大幅に削減し、構築したシステムの属人化の回避にも多大な効果を上げている。

## 導入背景

- システムの運用管理に対する人的リソースが逼迫するなか、業務プロセスの変革による自動化、効率化が求められていた
- グループの方針で、従来Notesで実施していた申請業務やマスター変更のワークフローをServiceNowやSharePointに置き換える必要があった
- キャパシティ管理の仕組みにZabbixを導入したが、各種サーバーのアクセスログやアプリケーションログなどを取得できない問題があった

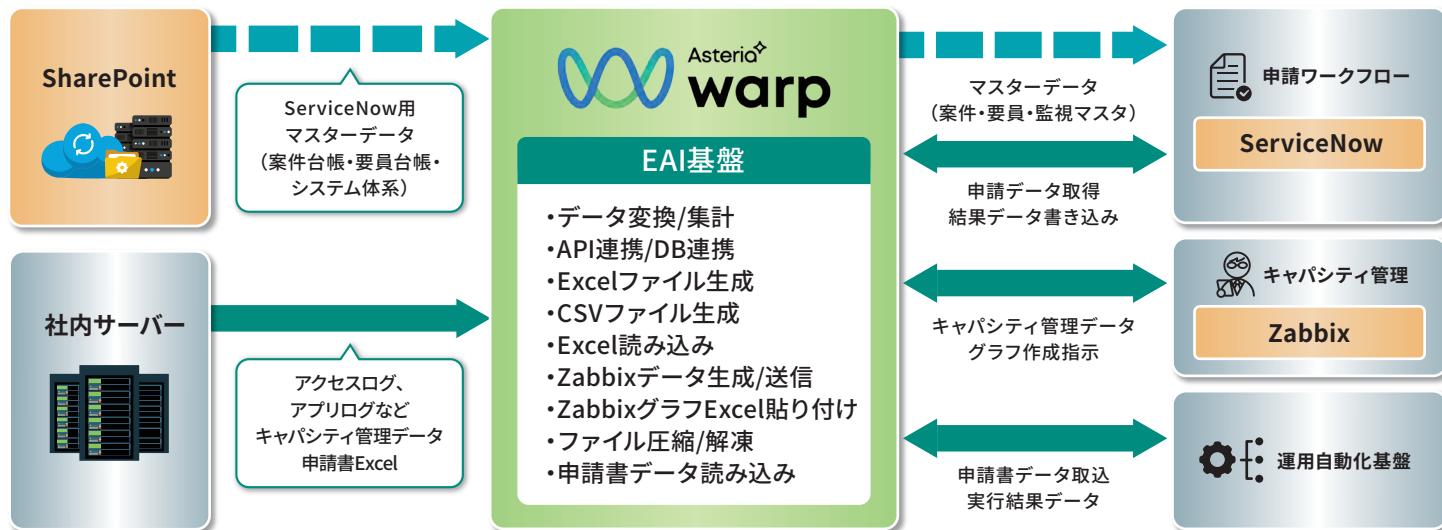
## 選定ポイント

- ノーコード開発が可能なおよび、セミナーや技術コンテンツも豊富に用意されており、開発未経験者や経験の少ないインフラ部門の担当者でも、短期間で連携処理の実装が可能
- 操作性に優れたデバッグ機能により、問題の特定や原因究明が容易
- 複雑な処理を共通化して、部品として利用できるサブフロー処理により開発生産性が大きく向上

## 効果

- ServiceNowとSharePointへのリプレースをわずか2カ月で完了。大幅な作業工数の削減が期待されるほか、メンテナンスの実施や運用の省力化にもつながる
- サブフロー処理を活用し、100サーバー以上、約30種類のデータ連携処理をわずか4か月で構築
- 保守やメンテナンスが容易になり、担当者が異動する際の引き継ぎ工数が大幅に削減されるなど、内製化の推進に貢献

## システム概要



## ユーザーのひと言



キャパシティ管理やServiceNowとの連携だけでなく、運用自動化基盤の構築やログ解析などもASTERIA Warpを活用し自動化するプロジェクトを実施しています。ASTERIA Warpはプログラミングの経験がなくとも限られた期間内で連携処理を構築でき、改修やメンテナンスの工数が削減できるなど、開発工数の面でも大きな成果を享受しています。人員入れ替わりなどによって発生する引継ぎ時間の短縮にも貢献しています。今後のさらなるシステム運用管理の効率化を目指すうえで、ASTERIA Warpの存在は、我々にとってまさに不可欠なものだと捉えています。

ご担当者様

## User Profile

## 情報通信業 T社

事業概要：自動車メーカーグループの各企業におけるITシステムの企画・構築・運用を支援

業種：情報通信